

発行所

社団法人 埼玉県電業協会  
〒336-0031 さいたま市南区  
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)  
TEL 048(864)0385  
URL <http://www.saidenkyo.jp/>  
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

# 彩さいのかがやきの耀

第157号  
平成21年10月20日発行  
発行人 佐野良雄  
編集人 広報委員会  
(委員長 熊田弘信)  
編集 日本工業経済新聞社  
(埼玉建設新聞)

## 平成21年災害復旧対策講習会を開催

# 地震被害を最小限に食い止める



佐野会長

平成21年災害復旧対策講習会を9月9日、建産連研修センターで開催しました。冒頭、佐野会長が「大地震などの災害時に電気がいつ復旧するか、電話が通じるかは生活をするうえでも、家族や社員の安否を確認するうえでも最重要のことで、災害はいつ起こるか分かりません。大地震や集中豪雨などが発生した時のことを想定して、日ごろからしっかりと災害復旧対策を構築しておかなければなりません。災害時には臨機応変の対応することが求められます。本日の講習会も県の地震対策担当の梅澤様、新潟中越大地震を身をもって体験された(社)新潟電設業協会副会長の近藤様が貴重な話をされるので、今後の災害復旧対策に役立ててください」とあいさつしました。



立川課長

来賓として、県危機管理防災部消防防災課の立川吉朗課長が「日本の国土面積は約38万Km<sup>2</sup>で、世界全体の面積の0.25%にすぎないが、マグニチュード6以上の大地震の発生回数は世界全体の20.5%を占める世界有数の地震国です。関東では首都直下型地震である東京湾北部地震の発生の可能性が高く、県でもこの地震を想定した対策を行っています。大地震が発生した際、迅速な復旧が一番大事。県では(社)埼玉県電業協会と平成17年9月に災害協定を締結し、大規模災害発生時の県庁舎、県立学校、教育施設、県立病院、県管理の道路などの電気設備の復旧作業をお願いすることになっています。日ごろから災害復旧対策に関する講習会を開催して、いざという時に備えておられる皆さんの協会活動に心から敬意を表します」と述べました。



梅澤氏

講習の第1部は県危機管理防災部消防防災課の梅澤寛史氏が「埼玉県の防災対策」と題して講演しました。梅澤氏は、埼玉県が過去に被害を受けた地震と今後起こりうる地震災害について説明し、「被害を最小限に食い止めるためには、自分の身は自分で守るという自助、自分たちの街は自分たちで守るという共助、国・県・市町村の災害対策の取り組みである公助の3つが一体となって機能することが重要」としました。

第2部は(社)新潟電設業協会副会長の近藤一彦氏が「新潟中越大地震と(社)新潟電設業協会の対応」と題する講演を行いました。近藤氏は平成16年10月23日午後5時56分に発生した新潟中越大地震の際、東京に来ており、新幹線がストップして帰れず、レンタカーを利用して地元長岡市に着いたのが翌日の午前2時だったという震災体験を語りました。また、新潟県災害対策本部の集計をもとに地震と災害復旧対策の概要を解説したあと「地震発生後たびたび起こる強い余震で、被災者は精神的にも不安定な状態が長期間続きました」と大地震の物心両面に与える影響の基大さを語りました。

第3部は事故防止対策委員長の中村章一氏が「災害時の実働体制について」同協会制作の「災害実働マニュアル」をもとに解説しました。

また、協会では、この講習会同様、毎年秋に全会員参加で緊急連絡シミュレーションを実施し、体制の確認を行っております。



震災体験を語る近藤氏



# 「彩の耀」に寄せて



さいたま市

さいたま市章

平成13年10月25日制定

さいたま市の頭文字「S」をモチーフに、未来に向かって人もまちもいきいきと前進するイメージのデザインです。「S」を囲むように弧を描くことで、市民を暖かく包みながら共に発展していくこと、輪(和)が広がり融和していくことを表現しています。基調となる緑色は、見沼たんぼに代表される豊かな自然との調和を示しています。

時の人

さいたま市長

清水 勇人

社団法人埼玉県電業協会の皆様方におかれましては、私たちの日常生活のライフラインとしての電気を供給するため、電気工事に関する諸問題の調査研究と豊富な知識と熟練した技術をもって電気工事に携わり、日々、電気設備産業の適正な運営及び健全な発達を図り、地域の社会生活の安定と社会福祉の向上にご寄与いただいておりますことに、心から敬意を表すとともに、深く感謝申し上げる次第です。

さて、私は本年5月24日に執行されましたさいたま市長選挙において第3代さいたま市長に就任いたしました。この度の選挙で多くの市民の信託をいただいたことは身に余る光栄であるとともに、市民の期待の大きさと、人口121万人を擁する政令指定都市さいたま市の舵取り役としての重責に身の引きしまる思いです。

私は、先の選挙戦を通して、さいたま市の未来に危機感を抱いていると訴えてきました。「大都市になって輝くはずだったのに、これでは違う」、「時代のスピードに追いついていない行政改革」、「市民ニーズが反映されない市政運営」など市民の意見を多く耳にしてきました。そこで、私は、まず、市民一人ひとりがしあわせを実感できる市政にすること、そして、その一人ひとりを、「絆」で結ぶことで、更なるしあわせを感じられる市政にすることを目指してまいりたいと考えております。

そのために、私は、次の三つの基本姿勢を大事にしていきたいと考えております。

一つ目は、市民・事業者・行政の三者が自らの責任を果たし、地域、市の課題をともに考え、ともに行動する、「責任と共感・共汗」。

二つ目は、市民の声、現場の声を大切にする、「徹

底した現場主義」。

三つ目は、地域に偏らない、しがらみのない「公平・公正・開かれた市政」の実現。

これらの三つの基本姿勢で市政運営に取り組み、多くの市民の皆さまの負託に応えてまいっている所存であります。

そして、私が目指すさいたま市の都市ビジョン「子どもが輝く‘絆’で結ばれたまち」を具体的に実現していくために、次の三つを基本方針として施策を展開してまいりたいと考えております。

一つ目は、1円も無駄にしない徹底した行財政改革、徹底した情報公開を進め、生産性の高い都市経営を行うこと。

二つ目は、総合力と個性を大切に全員参加の一つのさいたま市づくり、絆で結んだ一つのさいたま市を実現すること。

三つ目は、さいたま市民しあわせ倍増計画を策定し、市民とともに計画を推進すること。

これら三つの基本姿勢及び三つの基本方針を通じて、「日本一ひらかれたまち、日本一身近ではやい行政、日本一しあわせを実感できるまち」にさいたま市を変えていく所存であります。

今後は、「子どもが輝く‘絆’で結ばれたまち」の実現に向け、議会の理解と協力を得ながら、市民とともに職員一丸となって、邁進する所存でございますので、皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社団法人埼玉県電業協会のさらなる飛躍発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、あいさつといたします。



## 技術講習会

# 人材レベルアップを 第1回技術講習会を開催

7月8日、平成21年度第1回技術講習会を建産連会館大ホールで開催しました。冒頭、佐野良雄会長は「電気はエネルギーの中で占めるウェートが大きい。それだけに、技術的素地をしっかりと固めて世の中の動きに遅れをとらないようにしなければなりません。世界同時不況、そして地球環境問題など課題が山積する中、人材のレベルアップが緊急の課題になっています。公共事業でも総合評価入札方式で確かな技術力が求められています。今日の技術講習会で自分の技術力アップにつなげてください」とあいさつしました。

講習会は「建築電気設備技術計算の基礎」のテーマで、

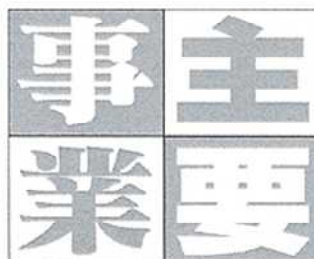
住友電設(株)東部本部原価企画統括部設計積算部長の下條信幸氏が接地、電路、電動機、照明設計、施工等に関する技術計算について(社)日本電設工業協会出版のテキストをもとに電気設備の技術計算の解説をしました。

日頃から関心の高いテーマのため、参加された県・各市町村関係、会員企業の担当者は真剣に受講されていました。



## 安全大会

# 気ゆるめず危険予知 21年度安全大会を開催



7月16日には、平成21年度安全大会を建産連研修センターで開催しました。冒頭、島村光正副会長が「存在感のある協会運営をするためには、まず、自分を守る、家族を守る、会社を守るという安全意識の高揚が大事です」と述べ、「本日の安全大会で学んだことを日々の業務の中で実践してください」とあいさつしました。

安全の訓示では、埼玉労働局労働基準部安全衛生課長の真壁秀夫氏が「県内の建設業の労働災害を見ると、年々減少傾向がはっきりしています。災害防止に向けて努力した成果が現れていますが、今後も労働災害を減らす努力が必要です。ささいな作業であっても基本を守ることが大事です。災害の発生状況を見ると、現場の作業に入って1日目、2日目で発生することが多い。作業に慣れる前に事故が起きることがはっきりしています。また、6月1日か

ら足場の労働安全衛生規則が改正になり、建設現場の墜落防止に関する細かな義務づけが追加されました。これを契機に墜落災害が減少し、安心できる足場が実現するよう期待しています。10月21日～23日にはさいたまスーパーアリーナで全国産業安全衛生大会が開催されます。建設産業だけでなく、多くの産業の最新の安全技術も勉強してください」とあいさつしました。

安全講話では、富士火災海上保険(株)シニアリスクアナリストの西出政和氏が「労災事故と事業者責任」のテーマで講演を行いました。西出氏は「安全というものはない。あるのはリスク」とし、最近の建設労働災害事例をいくつか引用しながら、どれだけ危険を見抜くかが重要であるとしました。また、「徒然草」の「木登り名人」の文章を引用し、「難しい仕事が終わったあとや作業が終わりの段階に来た時、気がゆるんで事故を起こすケースが多い。危険を予知し、最後まで気をゆるめないことが大切です」と語りました。

このあと、安全大会スローガン「定着させよう「安全文化」 つみ取ろう職場の危険」を全員で唱和しました。

実践的な内容に安全を意識し、維持し続けていく重要性を再認識させられました。

## 検定試験受験準備講習会

# 解答のコツは簡潔・具体的に

9月3日から3回に分けて、一級電気工事施工管理技術検定試験(実地)受験準備講習会を建産連研修センターで開催しました。講師はケイ教育企画サポート事務所所長の小泉一夫氏。初日のガイダンスでは、全日程のカリキュラムの説明、合格率の推移、試験の出題範囲、記述式解答の書き方などが説明されました。

記述式解答の遵守事項として①重要な解答から簡潔書きに、採点者が読みやすく記述する②解答は具体的に、簡潔に与えられたスペースに記述する③専門用語

の誤字・脱字がないように記述する④一般に漢字が使われている語句は、漢字で記述する⑤字はていねいに、濃い鉛筆かシャープペン(HB程度)を使用して記述する⑥記述後に採点者の身になって読み直し、文面や誤字・脱字の修正を行ってから



提出する、の6項目が示されました。これらの項目を模擬試験をとおして、実践していくことで学んでいきました。

この講習会は埼玉県の職業訓練事業として認定されていることから、当日は県産業労働部産業人材育成課の技能振興担当者が講習会を見学しました。



# 人材育成委員会 [活動報告]

委員：内山 祥章（内山電設株式会社）

## 6月 学校訪問の結果報告について

先月、訪問させていただいた学校のレポートを発表、検討をしました。  
下記2点について簡単にまとめましたので報告させていただきます。

### ①学校からの意見・要望

1. 入学状況… 電気系のクラスの減少で全体的に少なくなっている。
2. 卒業後の進路… メーカー系、工場、ビル管理を希望する者が多い（高校）
3. その他… インターンシップ体験の充実を希望する。

### ②協会への検討事項

- ・ホームページ等インターネットでのアピール
- ・就職後の技術教育/具体的な教育内容の充実
- ・企業（各社と電気工事業）の将来性と各社の特徴や優位性をアピールする。



## 社団法人 埼玉県電業協会

学校（高校、専門学校、大学）や地域によって、特徴ある貴重なご意見を頂きました。  
レポートについては、後日関係各位へお渡しさせていただく予定です。

## 7月 メイン事業を進めていくため、2つのワーキンググループをつくりました。

また、埼玉県下水道公社主催の荒川下水道フェスタ2009に参加するため、準備作業を始めました。

### ①人材採用サイトワーキンググループ

趣旨・目的 電業協会会員企業を対象とした人材確保に特化したサイトを運営し、会員企業の求人活動に役立てる。

### ②優秀技術者育成システムワーキンググループ

趣旨・目的 会員企業に勤務する技術者を対象に、技術者を目指すべき姿を明確にし、能力開発の一つの手段として仕組みを設け、優秀な技術者を中長期的な視点で育成し、会員企業の技術力を高める。

## 8月 各ワーキンググループを開催し、具体的な活動に入りました。また、下水道フェスタ（10月10日（土））の参加内容を検討しました。

### ①人材採用サイトワーキンググループ

掲載内容、デザイン、運用方法、予算等を検討しています。

### ②優秀技術者育成システムワーキンググループ

選考基準、表彰アイテム等を検討しています。

### ③荒川下水道フェスタ2009

年少者（主に小学生）向けのソーラー工作、高所作業者の体験、省エネ電球などのエコアピール等を検討しています。



## 「進路をきめるにあたり」

学生にとって秋は具体的な進路（就職先）を決める時期かと思えます。

先日の学校訪問の報告書を分析してみると、多くの学生や父母たちは安定をした職種や企業に就職することを望んでいます。

しかしながら私たち企業は「将来会社を担う技術者として多くの学生に就職をしてもらいたい」と考えています。

また学校の先生方の多くは、企業の大小ではなく就職

した先で生徒たちが、「どのようにして一人前の技術者に成長していくのか、また企業が育ててくれるのか」ということを考えて生徒たちにアドバイスを送っているようです。

人材育成委員会では、その期待に応えるために私たち企業も彼らと一緒に仕事をし、ともに成長しつづけるように活動の方向性や方法について考えていきたいと思えます。

委員 市之瀬正靖 / 株式会社市之瀬

人材育成委員会（11名）あいうえお順、敬称略

市之瀬正靖/市之瀬電設、井上則文/三共電気商会、内山祥章/内山電設、大塚徹/大塚電設、岡島光孝/岡島電気商会、川合昭/埼玉電設、北見史生/旭電気工業、積田優/積田電業社、橋本幹男/橋本電工、町田浩征/国益電設工事、吉村光司/八洲電業社



# 経武両道で「一つ道」を めざしています

(株)おぎでん  
代表取締役



荻野 勝治

私は、2年前糖尿病の数値が高いとの診断を受けました。それから医師や栄養士の指導を受けながら、食べ過ぎ・飲み過ぎを抑え、運動不足の改善を心掛けています。

糖尿病になると免疫力が落ち、細胞に栄養を届ける糖代謝が弱り、普通の風邪やインフルエンザなどにかかりやすいと言われました。治療法は、糖代謝の異状ポイント、ヘモグロビン(HbA1c)の値を下げる必要があるとのこと指摘で、普段の経済活動を続けながら、自分流のHbA1cを下げる努力に目標を据え、道は半ばですが「一つ道」を実践しています。

その道とは、食事は腹八分目にし、昔取った「きねづか」を「きねづかパンク」から引き出すことでした。私の「きねづかパンク」の貯えは、半世紀以上に、一生懸命汗流した柔道でした。姿三四郎を夢見て青春を投げ擲っていた頃の講道館柔道でした。発奮は即、近くの荻野道場(土道館)の門をたたくことから始まりまして、毎週、火・木・土の夜約2時間通う事になりました。土道館には、小中高生や一般の老若男女など、門弟が多く、苦しい中にも和気あいあい、そんな空気がありました。

好きな事をやりながら、病気が癒るなら願ったり、と週3回、玉のような汗をかき、当日のアルコールはご法度。生活習慣の切替は、経済人・経営者としてのストレス解消に繋がりで、余録に妻のご機嫌も良くなりまして、汗の一つ一つに手応えを感じ始めています。

稽古再開1カ月くらいは筋肉痛で、自宅の階段の上り下りや、車の乗り降りも大変でしたが、だんだん慣れて、昔の自分の柔道を思い出せるようになりました。そんなある日、現役高校生と稽古中に背負い投げを掛けられ、畳に落下しました。強(したたか)に頭を打った帰り道、夜空を見上げると、星は流れ星になり、信号は二重にぼやけて見えました…。

それでも私は続けています。土道館荻野道場は地域でもレベルが高く、名細(なぐわし)中学校生の荻野香澄さんは、小学生時代から将来を囑望されており、今年も8月、関東大会を制し、全国中学校大会の-57キロ級に見事優勝し、柔道界の注目を浴びています。他にも埼玉県を代表するような小学生も多く、いろんな大会で毎回の様に優秀な成績を挙げています。

勝って涙、負けて涙、家族ぐるみで悲喜こもごもの涙、指導者や道場生はもらい泣き。今どきの世間に較べ、余りある感動を味わっています。

勝負の世界はイバラの道ですが、子どもたちには、激しい稽古に耐え、錬磨できれば受験勉強にも耐えられる「文武両道を目指せ」。そう激励し、自らは「経武両道」を心に刻み、数値の克服を目指しています。

その日も、経武両道のチャンスが今夏訪れ、8月16日に関東柔道高段者大会6段の部(参加189名)で、優秀選手賞をいただきました。

汗と、自分なりの「一つ道」への切磋琢磨に更なる証を求め、2010年(来年4月)に開催の、全国高段者大会に参加する目標をたてました。錬磨を重ね、願わくば、我が意の成就を期しています。「柔道ルネッサンス」嘉納治五郎師範の理想とした人間教育、想い。嘉納先生が提唱された柔道の原点に立ち返り、青少年の心と身体の健康づくりに、自らも参加しながら、青少年健全育成を支えたい、そんな想いが我が「一つ道」の延長線上に芽生えてきました。糖尿病と真摯に向き合っている2009年初秋雑感です。



## 与野七福神

埼玉電設(株)  
代表取締役

川合 昭

協会だより  
さいたま支部

お正月には初詣でにぎわう大きな神社仏閣が、浦和には調神社、大宮には水川神社、岩槻には久伊豆神社・岩槻大師などあります。ですが、与野(さいたま市中央区)にはそういった処が見当たりません。与野は鎌倉街道(現在の本町通り)に発達した古い街です。

この街には七福神をお祀りしている寺社があります。七福神とは幸福をもたらす七人の神様で、室町時代に竹林の七賢人になぞらえて七体の福神を取りそろえたのがはじまりとされており、インドや中国、日本の神様から選ばれています。ちなみにさいたま市内の七福神は与野(中央区)にしかないようです。色紙に御朱印をいただきながらすべてを徒歩で回って、2時間から3時間くらいです。

〔福祿寿/上町水川神社〕与野の氏神様の上町水川神社は、樹齢500年の榎がそびえ立つ森があります。境内は、鳥居から拝殿、本殿へと北に向かって扇子を開いたような未広がりで「扇の宮」と呼ばれていました。幸福(福)と高給(禄)と長寿(寿)の神(中国の神)様です。

〔恵比寿神/一山神社〕木曾御嶽講の四大講祖のひとり、一山行者ゆかりの神社。毎年冬至には「ゆず祭り」が行われます。商売繁盛の福の神(日本の神)様です。

〔寿老神/天祖神社〕バラまつりと与野公園の中にあります。老子の化身で、1,500歳の超長寿を全うした長寿の神(中国の神)様です。

〔大黒天/円乗院〕鎌倉幕府の武将・畠山重忠が創建した

名利です。右手に小槌、左肩に袋を下げた蓄財の神(インドの神)様です。

〔布袋尊/円福寺〕室町時代からの古刹です。本堂には江戸中期の木造阿彌陀如来像や毘沙門天、不動明王を安置しています。未来予知ができる福德の神(中国の神)様です。

〔毘沙門天/鈴谷大宮〕入口にある六地藏は1667年造立。幾度かの火災にあうも、地域の方々が立て直したと伝えられています。鍔・兜を身につけた知恵と勇気の守り神(インドの神)様です。

〔弁財天/二度栗山弘法尊院〕二度栗山の由来は昔、1年に2度栗の実を結ばせたと伝えられた山(丘)との伝説から呼ばれています。明治36年に北足立八十八箇所弘法大師霊場の三番として創建されました。唯一の女神で、学問・芸術・財運の神(インドの神)様です。

来年のお正月には開運、諸願成就、健康増進に与野七福神をお参りください。

### \*七福神の色紙





# 協会のうごき

## 7月

- 8日 国等挨拶回り  
第1回技術講習会
- 14日 第5回理事会
- 16日 事故防止対策委員会  
安全大会  
人材育成委員会

## 8月

- 5日 三県WG会議
- 20日 人材育成委員会
- 21日 企業対策委員会
- 27日 技術研究委員会

## 9月

- 3日 1級電気工事施工管理技術検定試験  
受験準備講習会実地コース1/3
- 9日 第6回理事会
- 10日 1級電気工事施工管理技術検定試験  
受験準備講習会実地コース2/3
- 14日 人材育成委員会
- 17日 1級電気工事施工管理技術検定試験  
受験準備講習会実地コース3/3

## 10月

- 10日 荒川下水道フェスタ
- 14日 第7回理事会
- 28日 三県WG会議
- 29日 企業対策セミナー

## 11月

- 6日 中間監査
- 10日 第8回理事会
- 19日 技術研修会  
(埼玉県設備設計事務所協会共催)

## 12月

- 8日 第9回理事会

## (社) 埼玉県電業協会会員 支部長◎ 副支部長○

### さいたま支部 (16社)

- 旭電気工業㈱(大宮区)
- 浦和電気工事㈱(南区)
- 大塚電設㈱(浦和区)
- ◎㈱岡村電機(緑区)
- 国益電設工事㈱(南区)
- 埼玉電設㈱(中央区)

[さいたま市]

- 三洋電設㈱(南区)
- 新生電気工事㈱(見沼区)
- 竹内電気㈱(岩槻区)
- ㈱積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業㈱(見沼区)
- 浜野電設㈱(北区)
- ㈱万代電気工業(桜区)
- 瑞穂電設㈱(北区)
- ムサシ電機工業㈱(桜区)
- ㈱八洲電業社(北区)

### 東部支部 (9社)

- ㈱内田電気商会(久喜市)
- ㈱大久保電気(越谷市)
- 島村電業㈱(上尾市)
- ㈱新電気(三郷市)
- ◎㈱大広電気(八潮市)
- 太洋電設工業㈱(越谷市)
- ㈱高岡電気工業(松伏町)
- 野口電気工事㈱(越谷市)
- ㈱弓木電設社(白岡町)

### 西部支部 (16社)

- ㈱新井電機(飯能市)
- 飯島電器工事㈱(川越市)
- ㈱市之瀬電設(志木市)
- ◎㈱岡島電気商会(川越市)
- ㈱おぎでん(川越市)
- 熊田電気工事㈱(狭山市)
- ㈱三共電気商会(和光市)
- ㈱関根電気商会(川越市)
- 相馬電業㈱(和光市)
- ㈱電成社(川越市)
- 橋電㈱(所沢市)
- ㈱橋本電工(所沢市)
- 浜田電機㈱(坂戸市)
- フジヤ電気工事㈱(川越市)
- ㈱松本電機(和光市)
- ㈱ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

- 高山電設工業㈱(川口市)
- ㈱田部井電気(鳩ヶ谷市)
- 釣谷電機㈱(川口市)
- 那須電機工業㈱(川口市)
- 領家電設㈱(川口市)

### 北部支部 (16社)

- イーテクノス㈱(熊谷市)
- ㈱エコー(深谷市)
- 岡根電気工事㈱(本庄市)
- 小沢電気工事㈱(行田市)
- 共和電機㈱(秩父市)
- ◎熊谷電機㈱(熊谷市)
- ㈱栗原電機(深谷市)
- 霧田電気㈱(皆野市)
- 中外電気工業㈱(深谷市)
- ㈱東電工業社(熊谷市)
- ㈱長井電機(熊谷市)
- ㈱沼尻電気工事(深谷市)
- ㈱早川電工(行田市)
- 松山電設㈱(東松山市)
- ムサシ電機工業㈱(行田市)
- ㈱羅進電気(深谷市)

### 南部支部 (11社)

- 内山電設㈱(川口市)
- ㈱奥富電気工事(川口市)
- 川島電気㈱(川口市)
- ㈱佐久間電設(川口市)
- 佐野電機㈱(川口市)
- ◎三位電気㈱(川口市)



雇用・能力開発機構では、雇用管理に関する事業を行っており、公的資格取得や能力開発のための各種事業及び助成金を行っていますので、お気軽に協会窓口まで、ご相談下さい。

## 独立行政法人 雇用・能力開発機構埼玉センター

### 〈雇用開発業務〉

良好な雇用機会の創出と雇用環境の改善を図るため、新分野進出の支援をはじめ雇用管理全般の相談・情報提供等を行うほか関連の助成金支給や勤労者の財産形成促進等を業務としています。

### 〈能力開発業務〉

離職者のための機動的な委託訓練コースや在職者に対する能力開発セミナーなど職業訓練を実施するとともにキャリア形成に関する相談・情報提供、助成金支給等を業務としています。

◆電話 048-882-4164 [建設労働・財形担当]

◆FAX 048-882-4166

◆所在地 〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8